

ナシ病害虫防除指針（家庭果樹用）

JA尾張中央 営農指導課

（防除薬剤には、展着剤を最初に混ぜてください。）

散布時期	対象病害虫	肥料名と施肥量、 散布薬剤と濃度	使用基準 収穫前日/回数	水100kg 当たり薬量
4月上旬 (開花直前)	黒星病 赤星病	ジマンダイセン水和剤 500倍	30日/5回	200g
	アブラムシ類 シンクイムシ類	マラソン乳剤 2,000倍	14日/5回	50cc
4月下旬 (開花後)	黒星病 赤星病	トリフミン水和剤 2,000倍	前日/3回	50g
	アブラムシ類 シンクイムシ類	アデオン乳剤 2,000倍	前日/2回	50cc
5月中旬	黒星病 赤星病	トリフミン水和剤 2,000倍	前日/3回	50g
	アブラムシ類 カイガラムシ類	コルト顆粒水和剤 4,000倍	前日/3回	25g
6月上旬	黒星病 輪紋病	オーソサイド水和剤80 1,000倍	3日/9回	100g
	アブラムシ類 シンクイムシ類	ダントツ水溶剤 2,000倍	前日/3回	50g
6月下旬	黒星病 輪紋病	ベンレート水和剤 2,000倍	前日/4回	50g
	アブラムシ類 シンクイムシ類	スタークル顆粒水溶剤 2,000倍	前日/3回	50g
7月中旬	輪紋病 うどんこ病	ベルコート水和剤 1,000倍	14日/5回	100g
	アブラムシ類 シンクイムシ類	ダントツ水溶剤 2,000倍	前日/3回	50g
12月上旬	カイガラムシ ハダニ類及びその越冬卵	マシン油乳剤95 16倍	冬期	6.2ℓ

（備考）

- ①病気の発生した果実や落葉を放置しておく、病原菌の越冬場所となるので集めて燃やすか、穴を掘って処理する。
- ②5月にアブラムシ類の発生の多い場合は、ベストガード水溶剤1,000倍（14日/3日）を散布する。
- ③ハダニ類の発生が多い場合は、5月にコロマイト水和剤2,000倍（前日/1回）を6月にカネマイトフロアブル1,000倍（前日/1回）を散布する。
- ④8月にシンクイムシ類の発生が見られたら、フェニックス顆粒水和剤4,000倍（前日/2回）を散布する。
- ⑤6月中旬には、袋かけをおこなう。

* 5割ぐらいのリスクを考えた場合の、防除指針です。

* ○は、防除をした方がよい時期です。

* 劇物農薬を購入の際は、印鑑が必要となります。